



# 東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園  
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和5年6月30日

発行者 園長 村山 貞則

## 7月号

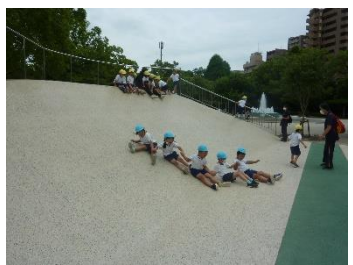
### 『体験』から学ぶもの

園長 村山 貞則

すっかり夏の日差しになり、水遊びが気持ちの良い季節になりました。キラキラした水にはしゃぎながら子どもたちが元気いっぱい楽しんでいる様子が見られます。「冷たくて気持ちいい。」「ラッコみたいに浮けるよ。」と子どもたち。水遊びの中で、この時期に様々な水の触感を体験させてあげたいと考えています。

そして、園庭に目を向けると、ナスやピーマン、トマト、ジャガイモなどが元気に育っています。その背景には、子どもたちが熱心にお世話をする姿があります。年中さんは先日、収穫したナスやピーマンを先生たちが調理をして、皆で食べてみました。野菜があまり得意でない子も含め、全員が食べていました。5回もおかわりをする子もいたそうです。「おいしい!」「次もまた早くとりたい!」子どもたちの笑顔がありました。年長さんは、ジャガイモの収穫をしたので、お家にもって帰って、一緒に話をしながら食べていただけたら嬉しいです。

また、行船公園への遠足の時も、普段はない横に広い滑り台を滑る体験をする中で、何度も滑っているうちに「皆で手をつないで滑ってみよう。」と提案する子がいました。皆でやってみると、「わあ〜。楽しい!」と嬉しそうな皆の声。その後も繰り返し皆で滑ることを楽しんでいました。私たちは、「楽しそう。考えた人すごいね。」「皆でやると、楽しさ増えているみたいだね。」と伝えました。



園生活のちょっとした体験の中でも、子どもたちの様子を見てみると、やはり、体験から学ぶものは多いと感じます。

園生活の中で、「体験できる場づくり」をこれからも大切にしていきたいと思います。

そして、体験の中で出てくる子どもたちの言動に対して、「嬉しい気持ちになったんだね。」「〇〇が上手にできていたね。」など「気付きを促す言葉かけ」、取り組むための「安全な環境づくり」への意識をさらに高めていきたいと思います。

もうすぐ夏休みです。夏休みにも素敵な体験をたくさんしてほしいと思います。